

西野だより



京都市立西野小学校
校長 山田 雅彦
TEL (075) 501-5700
FAX (075) 501-5371



学校評価へのご協力ありがとうございました。皆様のご意見を今後の学校運営に活かしていきます。

以下の分析に関しまして、便宜上「よくできている」をA、「だいたいできている」をB、「あまりできていない」をC、「できていない」をDとして記述いたします。

「学校で楽しく過ごしているか」を問う設問では、約72%の児童がA、約23%の児童がBと答え、約9割を超える児童が「よくできている」「だいたいできている」と答えています。保護者の皆様の働きかけもあり、多くの子どもたちが学校で過ごす時間が充実していると感じているようです。一方、Dと答えている児童がわずかながら存在するのも事実です。児童がどんなことで悩み、困っているのかを考え、それを解決するための取組は、これからも全校で行っていきます。

「将来の夢や目標」を問う設問では、児童の約77%がAと答えています。小学校ではあらゆる場面で、将来の夢や目標を意識した学習や取組を行っています。また、「キャリアパスポート」を記入して一年後の自分を想像したり、将来の自分の姿を思い描いたりする時間も確保しています。児童が将来の夢をもつには、身近にロールモデルとなる人がいることも大切です。保護者の皆様・教職員など、周りにいる大人たちがお手本となり、自分たちの姿を通して児童が将来の夢をもつことができるようにすることも重要であると考えます。

「読書をしているか」を問う設問では、児童の約39%がC・Dと答えています。保護者の皆様・教職員も、児童が読書に親しむ時間の確保は不十分であると感じているようです。読書は知識を増やすだけでなく、感受性を養ったり自分の世界を広げたりするために大変有効です。学校では学校司書や図書ボランティアの方と連携し、「にじいろ図書館」の効果的な活用、学級文庫の充実を行います。ご家庭でも、児童が読書に親しむことのできる環境づくりにご協力ください。

「学年に合った家庭学習をしているか」を問う設問では、児童の約36%がC・Dと答えています。学校としても、教室での学習内容に応じた家庭学習を宿題として課していますが、家庭との連携、児童の実態に合わせた家庭学習の提示は、まだ不十分であると考えます。児童が主体的に学習に取り組み、家庭学習と授業の連動で学習を深められるよう、教材研究、授業準備に取り組みます。

児童自己評価

A・・・よくできている
C・・・あまりできていない

B・・・だいたいできている
D・・・できていない

	A	B	C	D
学校で楽しく過ごすことができている。	72%	23%	4%	1%
友達に優しく、仲よく学習したり活動したりしている。	66%	30%	3%	1%
自分から挨拶している。	52%	37%	9%	2%
困ったときや分からないときなどは、先生に相談している。	42%	39%	13%	6%
授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	40%	44%	14%	2%
学校や家で、自分から読書をしている。	38%	23%	27%	12%
家で学年に合った家庭学習をしている。	36%	28%	25%	11%
学校のきまりや交通のルールを守っている。	69%	28%	2%	1%
健康に気をつけている。(早寝・早起き・手洗い・うがい・歯磨き)	50%	40%	8%	2%
学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	68%	29%	2%	1%
下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。	64%	30%	4%	2%
将来の夢や目標がある。	77%	13%	5%	5%

保護者による外部評価

A・・・よくできている
C・・・あまりできていない

B・・・だいたいできている
D・・・できていない

E・・・わからない

	A	B	C	D	E
ご家庭で、お子さんが楽しく学校へ行けるように働きかけている。	32%	59%	6%	1%	2%
お子さんが友達に優しく、互いに気持ちよく関わり、仲良く学校生活が送れるよう働きかけている。	33%	60%	2%	0%	5%
お子さんが家庭や 地域で場面に合った挨拶ができるよう働きかけている。	24%	59%	14%	1%	2%
ご家庭でお子さんの話を聴いている。	35%	53%	11%	0%	1%
お子さんが意欲的に学習に取り組めるよう働きかけている。	21%	57%	17%	1%	4%
ご家庭で、お子さんが読書をするような環境作りを心掛けている。	13%	25%	41%	19%	2%
ご家庭で学年に応じた家庭学習(宿題)の習慣が身につくよう働きかけている。	18%	43%	30%	7%	2%
お子さんが、きまりや安全のルールを意識し、守るよう働きかけている。	33%	64%	1%	1%	1%
ご家庭で、お子さんが基本的な生活習慣が身につけられるよう働きかけている。	25%	64%	7%	2%	2%
お子さんが自分の安全を守る意識を高められるように働きかけている。	28%	67%	4%	0%	1%
お子さんが集団登校や縦割り活動などの異年齢集団を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりするよう働きかけている。	26%	59%	10%	1%	4%
お子さんが夢や希望をもって将来の生き方や生活を考えられるような会話をしている。	21%	54%	18%	2%	5%
学校・家庭・地域が連携して子どもを育てている。	18%	66%	7%	1%	8%
教職員は気軽に質問や相談がしやすい。	37%	50%	7%	2%	4%

教職員自己評価

A・・・よくできている
C・・・あまりできていない

B・・・だいたいできている
D・・・できていない

	A	B	C	D
「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	42%	58%	0%	0%
互いを大切にする子どもの育成を目指し、「～さんで呼ぶ」「正しい言葉遣い」等を指導し、児童の身につくよう働きかけている。	47%	53%	0%	0%
進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもが意欲的に活動するよう指導している。	47%	53%	0%	0%
子どもの相談に適切に応じられている。	26%	74%	0%	0%
子どもが主体的に学習に取り組み、共に学び合い高め合う学習活動の工夫をしている。	5%	84%	11%	0%
読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動するよう働きかけている。	16%	58%	26%	0%
授業と家庭学習を連動させた課題や読書活動を位置づけた家庭学習の充実に取り組んでいる。	16%	74%	10%	0%
きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着するよう指導している。	42%	58%	0%	0%
基本的な生活習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身につくよう指導している。	42%	58%	0%	0%
ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着するよう指導している。	47%	53%	0%	0%
児童が縦割り活動を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりするよう指導している。	37%	58%	5%	0%
児童が将来の夢や目標をもてるよう働きかけている。	21%	68%	11%	0%
学校・家庭・地域が連携して子どもを育てている。	26%	68%	6%	0%
保護者が気軽に質問や相談がしやすいよう関係づくりをしている。	26%	74%	0%	0%

学校評価でいただいたご意見をもとに

- ・学校行事に関するご意見→学校行事は児童の成長に大きく影響を与え、成長のきっかけとなることもあります。全校や学年を挙げた行事は教育的に有意義である一方、教職員の健康を守るという観点から、学校行事の精選が全国的に行われています。本校でも様々なご意見をいただきながら、学校行事の精選・スリム化を進めております。
- ・学校運営に関するご意見→教職員は、日々「子どもたちのため」という強い思いをもって職務に取り組んでいます。学校は児童の学習を保証する場であるため、効果的な授業方法の研究や教材準備は欠かせません。また、学校は地域のコミュニティとしての役割も担っており、地域の交流や防災などにおいても重要な存在として運営されてきました。しかし、教職員の健康・ウェルビーイングを考慮すると、現在の学校運営を持続することは難しいと考えます。今後も学校運営に関する改革は全国的に進んでいきます。保護者の皆様・地域の皆様のご協力をお願いいたします。